

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2024年11月14日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I : 該当なし

区分 II : 該当なし

区分 III : 該当なし

その他: 3 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	1号機	プロセス放射線モニター系排気筒放射線モニター校正ガス循環ライン入口弁において、配管計装線図と現場の開閉状態に相違(図面上「閉」、現場弁状態「開」)が認められたため、原因調査・対策検討。 なお、当該配管の末端には、閉止プラグが取付けられており、系統機能への影響はない。 また、当該弁を配管計装線図面に記載のと通りの「閉」状態とした。	GⅢ	10月30日
2	3・4号廃棄物処理設備	廃棄物固化系固化材受入れポンプ出口圧力指示計において、点検後の運転確認時、指示値のダウンスケール(指示値の目盛板下限値未満)及び指針の固着が認められたため、当該圧力指示計を点検・修理。 なお、現時点で固化材は十分な保有量があり、廃棄物処理への影響はない。	GⅢ	11月11日
3	3・4号廃棄物処理設備	廃棄物固化系計量ホッパー粉体重量計において、指示値不良(粉体全量払い出し後、「0.0kg」となるところ、「8.9kg」を指示)が認められたため、当該重量計を点検・修理。 なお、固化処理系の稼働は11月下旬を予定しているため、現時点で廃棄物処理への影響はない。	GⅢ	11月12日